

# VCO : VCO ネットワークでエコーが発生した場合の処理方法

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[エコーのキャンセル](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、それぞれの Virtual Central Office ( VCO ) ネットワークでエコーが発生しているユーザにリソースを提供します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- ハードウェア : Cisco VCO4K、VCO20 および VCO80 製品
- ソフトウェア : すべてのジェネリック

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## [エコーのキャンセル](#)

「エコー 除去」は VCO/4K の機能ではありません。長距離伝達では、直通マイクロウェーブ、海底ケーブル、またはサテライトならば、エコーはほとんど常にあり、エコーが顕著になるときエコー キャンセラはもたらす必要があります。

エコー キャンセラ製品における出典はここにあります: [2500 シリーズ エコー キャンセラ](#)

## **関連情報**

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声と IP 通信製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)